

鳥取県立博物館の休館のお知らせ

令和7年2月17日(月)から4月30日(水)まで休館します。

鳥取県立美術館が開館することに伴い、美術分野の移転と館内の資料移動等のため休館します。ご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力を願ひ申し上げます。



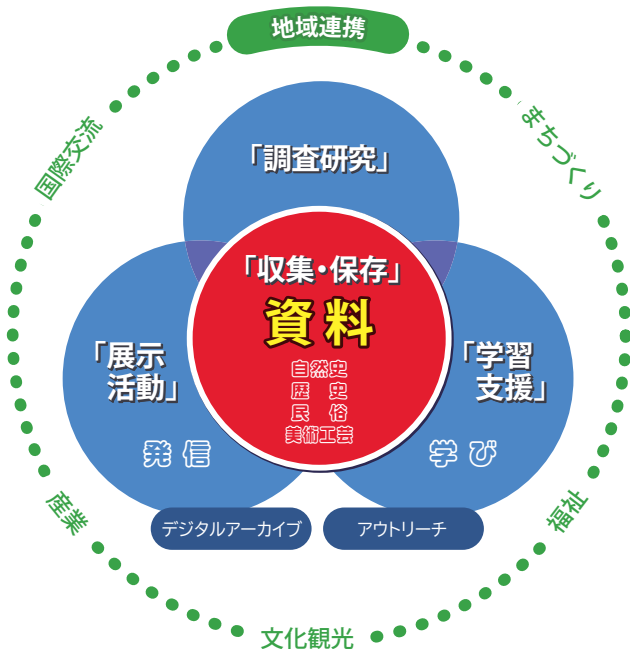
鳥取県立博物館は、
令和7年5月1日(木)から再開します。

〈再開後の博物館運営方針〉

美術分野移転後の鳥取県立博物館は、「鳥取県の『宝蔵』：鳥取県の過去を知り、ともに未来を考えていく博物館」を理念に、次の5つを使命として取り組みます。鳥取県の自然史、歴史、民俗、美術工芸の総合博物館として再スタートし、新たに「とっとり藩と城」に関する展示も計画しています。新しい鳥取県立博物館の活動にご期待ください。

鳥取県の過去を知り、ともに未来を考えていく博物館

鳥取県の「宝蔵」



鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

〔収集・保存〕 鳥取県の過去(自然史、歴史、民俗、美術工芸の資料)を、県民一人一人の財産として収集し、適切かつ安全な環境の下で、保存します。

〔調査研究〕 資料の調査研究を継続するとともに、館内外で円滑・適切な調査研究活動が展開できる機能や環境の整備に取り組みます。また、調査研究の成果については、積極的に県民に還元します。

〔展示活動〕 資料を専門分野ごとに詳しく、分かりやすく解説することはもとより、異なる分野が融合した博物館として、多面的な考察や視座を提供します。また、学芸員や研究者等との対話や交流を通じて、学びが深まるよう努めるとともに、資料は、いつでも誰でも活用できるようにし、県民の主体的な学びに貢献します。

〔学習支援〕 「ふるさとキャリア教育」の推進や「教育DX」への対応など、新たな社会的ニーズに確実に対応するとともに、博物館から離れた地域でも、学習の機会が提供できるよう努めます。

〔地域連携〕 資料の利活用により、鳥取県の新たな価値と魅力を見だし、国内外へ発信し、交流と発展を進めます。また、県民・地域との共同連携による「魅力ある県立博物館」となることで、文化観光やまちづくりなど、多様な地域の活力向上に貢献します。

「宝蔵」について

19世紀半ばの鳥取城内には貴重な美術品や歴史資料を管理保管するための「御宝蔵」という建物が実在していました。この蔵には、現在県外の機関が所蔵する国重要文化財や、県立博物館に引き継がれている初代藩主池田光仲直筆の和歌などが収められており、博物館の前身とも言えます。この「御宝蔵」を理念の根幹に据えることで、県民の財産である資料をいつまでも保存し続けることを表明します。「宝蔵」は単に資料を納めておくだけの蔵ではなく、収集した資料を適切に保存・管理し、誰もがいつでも活用できる新しい蔵です。

休館中は、原則右記のサービスも休止します。

- ミュージアムショップ ● 講堂・会議室等の使用 ● 史料閲覧室の利用 ● 資料の貸出等
- 学芸員派遣等の学習支援活動 ※博物館カフェ「カフェ・ダールミュゼ」の営業日は博物館のHPをご確認ください。

問合せ先

※ 詳細はホームページでご確認いただくか、お問い合わせください。

鳥取県立博物館 鳥取県鳥取市東町2丁目124
TEL:0857-26-8042 FAX:0857-26-8041

✉ hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp
https://www.pref.tottori.lg.jp/museum/ ▶▶▶▶▶

